

皮疹の形状と生体内をつなぐ 数理診断システム

日時

2025年7月28日（月） 11:00 - 12:00

開催形式

Zoomウェビナー（聴講登録頂いた方に、URLをセミナー前日までにメールでお知らせします）

聴講登録

<https://forms.gle/P7GNXgHgCrGF8LQu7>

登録〆切：2025年7月25日（金）17:00

講演

皮疹の形状と生体内をつなぐ 数理診断システム

李 聖林

Professor & PI,
ASHBi, KUIAS/Graduate School of Medicine,
Kyoto University

皮膚疾患は一般に、皮疹という「目に見える情報」として全身に現れるが、その原因となる生体内の理解は、主に皮膚生検によって得られる一時点の断片的な情報にとどまる。とくにヒト特有の疾患では、限られた臨床データをもとに病態を把握せざるを得ない。本発表では、慢性蕁麻疹を対象に、「皮膚に現れる皮疹の形状」と「生体内の分子・細胞動態」を数理モデルで結びつけ、こうした従来の限界を乗り越える新たな研究アプローチを紹介する。数理科学と臨床皮膚医学の融合により、病態の可視化と治療戦略の個別化を紹介する。

クロストーク

テーマ 「数学で医学に変革をもたらせる？」

李 聖林

Professor & PI, ASHBi, KUIAS/Graduate School of Medicine, Kyoto University

橋本 遥

株式会社Convallaria 代表取締役

鈴木 忍

京都大学「医学領域」産学連携推進機構 特定教授